



6月18日は…大阪北部地震から一年

一年前の6月18日(月)の朝8時前、子どもたちの多くが集団登校で学校に向かっている途中、突然の激しい揺れが襲いかかってきました。豊中では震度5強を記録した大阪北部地震です。子どもたちにとって初めて経験する大地震に、不安や恐怖を感じた人が多かったと思います。しかし、そのような状況の中でも子どもたちは冷静に行動し、運動場に避難をしました。保護者の方にお迎えをお願いし、全員の引き渡しが終わったのが11時15分でした。

災害は、突然予期せぬ形で襲ってくるのだと、改めて思い知らされた一日でした。と同時に、子どもの命、安全を守る

ために、保護者のみなさまの協力は欠かせないものだと、実感した日でもありました。

◆ 引き渡し11時15分完了が示すもの・・・

市内41小学校の中で、この時間に子どもの引き渡しが終了した学校は教校しかありません。刀根山小学校800人を超える大規模校で、これだけ早く全員の引き渡しができた理由を考えると…

- * 緊急時ということで、多くの保護者が学校まで集団登校に付き添ってくださった。
- * PCからの学校メールが使用不可になったが、保護者がラインでお迎えの連絡を回してくれた。
- * 電車もストップしていて、お迎えができない家庭の子どもを、同じ登校班などで顔見知りの近所の保護者が、自分の子どもと一緒に連れて帰ってくれた。登校班があることで近所の保護者同士が連絡を取ることができ、そして近所の子どもと保護者がお互い顔見知りだったことが非常に大きな意味があったと感じました。

◆ 「何かお手伝いできることがあったら、声をかけてください・・・」

登校班に付き添っていた保護者が、とっさに子どもたちを座らせたり、学校まで誘導してくれたことは子どもにとって大きな安心につながったと思います。また、学校に来られた保護者が上のように言ってくださり(9月の台風の時も同様です)、教職員は子どもの掌握に集中できました。(指示を出すための朝礼台も保護者が数人で運んでくださいました。)

災害はもう起きてほしくないと願いますが、それでも突然やってきます。子どもの安全を守るために、学校、保護者、地域が連携した二重三重のセーフティネットをぜひよろしくお願ひします。

5年生 林間学舎へカウントダウン・・・今週の水木金です!



5年生の林間学舎(兵庫県養父市鉢伏高原)がいよいよ目前に迫ってきました。各クラス、ロウカで制作中の林間のクラス旗もほぼ完成。それぞれに気合いの入ったデザインに、林間にかかる意気込みを感じます。3日間寝食をともにし、楽しい思い出をいっぱい作ってください!



いろいろな勉強をしています

▶▶ 環境学習(4年生)

5月24日に豊中市の環境部の方に来ていただき、ゴミについて学びました。

パッカー車でゴミを収集する実演や実験を見せてもらった後は、ゴミ収集車に乗せてもらい、楽しく学習しました。(写真上)

6月4日には「緑のカーテン」ゴーヤを植えました。教えてくださったのは「豊中みどりの交流会」の入江忠徳さん。「ゴーヤちゃん」という言い方にゴーヤへの愛を感じました。(写真下)

▶▶ 田植え体験(5年生)

6月6日5年生が田植え体験をしました。柿本公民分館長が5年生一人ひとりに植え方を教えてくださいました。裸足になって田んぼに入るのは初めての子どもたち。最初は恐る恐るでしたが、入ってみると案外気持ち良かったようです。秋の収穫が楽しみです!



田んぼに入った後は、まるで泥のくつしたをはいているようでした!